

令和3年度 第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会 富山県予選 戦評

令和3年 11月7日(日)		会場：南砺市福野体育館					
男子 試合No. 特2		決勝戦					
勝ちチーム <b>高岡第一</b>	84	<table border="1"> <tr><td>23-14</td></tr> <tr><td>17-14</td></tr> <tr><td>21-22</td></tr> <tr><td>23-26</td></tr> </table>	23-14	17-14	21-22	23-26	76 負チーム <b>高岡商業</b>
23-14							
17-14							
21-22							
23-26							
<b>戦 評</b>							
<p>1Q 高岡第一はフルコートマンツ、高岡商業はハーフコートマンツでスタート。高岡第一は#8のFTで先制し、高岡商業は#4のブレイクからのレイアップで返す。1Q中盤に高岡第一はDFの強度を上げ、流れが傾きかけたところで高岡商業はタイムアウト。高岡第一はゴール下でファウルを得てFTで得点を積み上げ、高岡商業は#8のスリーなどで食らいつく。1Q終盤に高岡第一#15のダンクが決まるなど、高さに勝る高岡第一がリバウンドからブレイクで点差を広げ14-23で1Qを終えた。2Q序盤高岡商業#6のアタック、#8の3Pなど5分間で10-4と高岡第一を射程圏内に捉えるが、高岡第一も#15、#8がミドルレンジで加点する。2Q終盤に高岡商業が2度目のタイムアウトを取り2-2-1のゾンプレスで仕掛けるが、高岡第一も激しいDFで簡単に得点を許さず、残り1分で高岡第一#7の3Pで流れを引き戻す。序盤高岡商業に流れが傾き掛けたが、28-40で高岡第一がリードを広げ前半を終えた。3Q高岡商業は2-3ゾーンでスタート。高岡商業はゾーンDFから#5、#8のブレイクで連続得点。しかし高岡第一も#15、#18で応戦する。残り3分から高岡商業は2-2-1で仕掛けるが高岡第一はうまくプレスダウンし突破。61-50の高岡第一リードで3Qを終える。4Qは高岡商業#5、#8などの連続得点に高岡第一#15、#8が得点を返すが、残り36秒3点差になり高岡第一はタイムアウト。タイムアウト後高岡第一#9がゴール下を決め5点差となり、高岡商業はファウルゲームを仕掛けるがFTを決められ万事休す。最後までもつれる接戦を制し84-76で高岡第一が勝利しウィインターカップへの出場権を掴んだ。</p>							
記録者： 米田 樹生		所 属： 富山県高体連専門部					
クルーチーフ： 山本 達也		1st アンパイア： 河辺 真由美					
2st アンパイア： 板井 巖							

令和3年度 第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会 富山県予選 戦評

令和3年 11月7日(日)		会場：南砺市福野体育館					
女子 試合No. 特1		決勝戦					
勝ちチーム <b>龍谷富山</b>	96	<table border="1"> <tr><td>24-20</td></tr> <tr><td>18-9</td></tr> <tr><td>31-12</td></tr> <tr><td>23-22</td></tr> </table>	24-20	18-9	31-12	23-22	67 負チーム <b>高岡第一</b>
24-20							
18-9							
31-12							
23-22							
<b>戦 評</b>							
<p>1Q 高岡第一ボールで試合開始。富山龍谷はハーフコートマンツーマン、高岡第一高校はオールコートマンツーマンで入る。高岡第一は、#4のキレのあるドライブから、初得点を奪うと#6の3ポイントシュートやファストブレイクを中心に得点を重ね、リードを奪う。対する龍谷富山は、長身の#6のインサイドアタックや、#9、#4の3ポイントシュート、#6のバスケットカウントなどが決まり逆転に成功。4点リードで1Qを終えた。2Q立ちあがり高岡第一は、#4、#5のドライブが決まり同点とした。その後、両者互いに譲らずハードなディフェンスで一進一退の攻防を繰り広げた。残り5分27秒、高岡第一タイムアウト。タイムアウト後、主導権を握ったのは龍谷富山。固いディフェンスから高岡第一のミスを誘い、#11のバスケットカウントや#7の確率の高いシュートが決まり徐々に点差を広げる。高岡第一は#8の3Pやハードなディフェンスで粘りを見せるが9点のリードを許し2Qを終えた。後半3Q開始早々に龍谷富山は#7が3Pを決め、この試合最大の12点差とした。その後も、龍谷富山は1-2-1-1での仕掛けから相手のリズムを崩し、ターンオーバーを誘った。また、安定感のある#6のインサイドを中心とした攻撃で点差を広げた。高岡第一は、#4の3Pやドライブで点数を返すものの、3Pやミドルシュートがなかなか決められず、流れを掴めず苦しい展開のまま3Qを終えた。</p> <p>4Q、高岡第一は3Pやハードなディフェンスから速攻など粘りを見せるが、龍谷富山は終始安定したインサイドアタックやディフェンスからの速攻で点数を重ねた。途中交代の#16のアシストや#17の3Pも決まり龍谷富山が勝利し、ウインターカップ出場を決めた。</p>							
記録者：喜入 大地		所 属：富山県高体連専門部					
クルーチーフ：上田 遼馬		1st アンパイア：加藤 彩華					
2st アンパイア：長濱 有希							